

2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	社会的養護の原理		教員氏名	櫻井奈津子
学年	1年		開講学期	前期
授業形態	講義		単位数	2単位
必修・選択	保育士必修			
テーマ	被虐待や養育環境が適切でない等の理由から、社会的な保護が必要な子ども(要保護児童)とその家族に対する支			
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。			○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。			
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。			○
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する		
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う		○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける		
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う		
授業の概要	児童福祉施設・里親等による社会的養護の概要を学び、具体的な実践活動の現状と課題を知る。授業は、教科書および授業内で配布する資料を中心に講義形式で行い、より具体的な理解を促すため、DVD等の視聴覚教材を使用する。また、近隣の里親会の協力を得て里親による体験発表・活動報告(里親講座)を行う。			
授業の 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①社会的養護について理解する ②児童養護施設を中心に、居住型児童福祉施設(入所施設)の概要が分かる ③里親制度・養子制度について理解する ④施設職員としての専門性を理解する ⑤授業を通して学んだ理解をもとに、子どもへの適切な対応ができるようになる 			
テキスト	『子どもと社会の未来を拓く 社会的養護の原理』(青踏社) 『保育福祉小六法』(みらい)			
参考書	『施設で育った子どもたちの語り』(明石書店) 『子どもが語る施設の暮らし』(明石書店) 『子どもが語る施設の暮らし2』(明石書店)			
ポートフォリオ	『児童福祉施設等一覧表』(授業内で配布する)を作成し、最終授業日に提出する。1年前期課題である『生活技術の資料収集』を通し、施設保育士として必要な知識や技術を確認する。			
課題の確認と 成績評価方法	14回目の授業で行う「到達度チェック」の結果(70%)と、各授業内で記入し提出するリアクションペーパー(30%)により、総合的に評価する。到達度チェックは15回目の授業で返却し、各自が自身の到達度を確認する。			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	社会的養護についてのオリエンテーション(社会的養護とは何か、この授業の目的・概要について学ぶ)
	授業外指示	子育て・子ども虐待に関する新聞記事から、新聞ワークに取り組む
第2回	テーマ 内容	子どもの育ちと社会の役割①(子どもに対する家庭・家族の役割・機能、家庭を支える社会の責任について学ぶ)
	授業外指示	核家族化・少子高齢化の進行が、子育てに与える影響についてまとめる。
第3回	テーマ 内容	子どもの育ちと社会の役割②(「子どもの権利」と社会的養護の関係・実際を学ぶ)
	授業外指示	子どもの権利を護るために、私たちが取り組むべき課題についてまとめる。
第4回	テーマ 内容	社会的養護の歴史①(わが国における社会的養護サービスの変遷を学ぶ)
	授業外指示	戦後から今に至る児童養護施設の役割・機能の変化をまとめる。
第5回	テーマ 内容	社会的養護の歴史②(先駆者の取り組みと養護理論形成を学ぶ)
	授業外指示	3つの養護理論の特徴を整理し、まとめる。
第6回	テーマ 内容	社会的養護の役割(社会的養護の体系・具体的な実践の場について学ぶ)
	授業外指示	大舎制施設～小規模グループケアのそれぞれの特徴とメリット・デメリットをまとめる。
第7回	テーマ 内容	施設養護の実際①(児童養護施設での具体的な取り組みを学ぶ)
	授業外指示	VTRを参考に、児童養護施設での子どもたちの生活をイメージし、保育士の役割を考える。
第8回	テーマ 内容	施設養護の実際②(施設養護の理念・原則を学ぶ)
	授業外指示	バイスティックの7原則について、具体的な場面を想定しながらまとめる。
第9回	テーマ 内容	施設養護の実際③(日常生活場面での子どもへの対応を学ぶ)
	授業外指示	被虐待体験が及ぼす子どもの発達への影響についてまとめる。

第10回	テーマ 内容	家庭養護の実際①(里親制度・養子制度を学ぶ)
	授業外指示	里親制度・養子制度の現状と課題についてまとめる。
第11回	テーマ 内容	家庭養護の実際②(里親講座の開催＝さがみの里親会による里親の体験発表)
	授業外指示	里親さんのお話から、地域で子育て支援に携わる保育者として、どのような支援ができるか考える。
第12回	テーマ 内容	施設職員としての専門性(児童福祉施設職員の専門性・職員の資質向上・施設運営を学ぶ)
	授業外指示	児童福祉施設職員の専門性を向上させるための取り組みについてまとめる。
第13回	テーマ 内容	これからの社会的養護(社会的養護の将来的な方向性を学ぶ)
	授業外指示	パーマネンシープランニングについて、具体的な展開をまとめる。
第14回	テーマ 内容	まとめ①到達度チェック(第1回～13回の授業内容について、各自の理解を整理し、チェックする)
	授業外指示	第1回～13回までの授業内容を復習し、ポイントを整理する。
第15回	テーマ 内容	まとめ②(前回のチェックで、わからなかったところ、誤答を調べて書き直す)
	授業外指示	理解が十分ではなかった単元について、各自で復習する。